

# 薬剤師外来による がん患者サポート業務開始について

マツダ病院薬剤部

2015年9月24日 安芸地区薬薬連携研修会

## 目標

地域でのチーム医療を促進し、レジメン完遂率、QOLの向上に貢献する。



## 病院薬剤師に期待されること

スケジュール、副作用、日常生活の注意点などの説明を行う。  
副作用発現状況を確認し、医師に支持療法の提案を行う。  
新規に処方された薬剤について服薬指導を行う。

## 保険薬局の薬剤師に期待されること

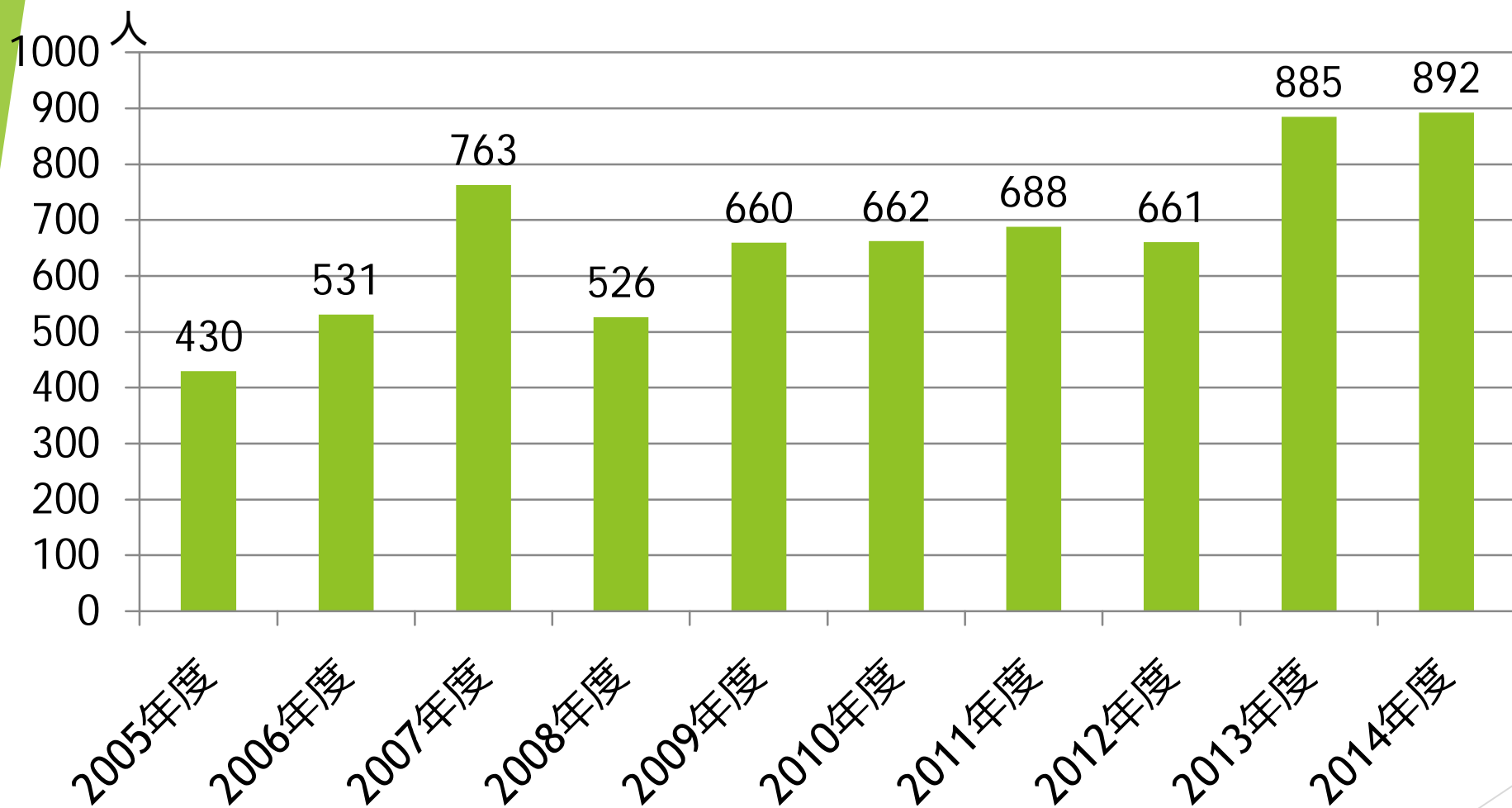
治療方針や病院での指導内容・支持療法を把握し、臨床検査値などを元に、適切な調剤・服薬指導を行い、必要に応じて疑義紹介を行う。

# 背景

- ・ 外来抗がん剤治療の増加
- ・ 抗がん剤治療の複雑化

# 背景

## 外来抗がん剤治療の増加



当院外来治療室使用のべ患者数の推移

# 背景

## 抗がん剤治療の複雑化

抗がん剤の代表的な副作用には骨髄抑制、嘔気嘔吐、末梢神経障害などがあり、副作用の重篤化を防ぐには抗がん剤の用法用量、スケジュールを守ること、副作用の予防薬を適切に使用することが重要である。

さらに、近年、多様な抗がん剤が開発され、発現しやすい副作用もアレルギー反応、皮膚障害、血圧上昇、出血傾向、心不全など多様化した。多様な副作用とその対処方法などを患者さんが全て理解することは難しい。特に外来では説明機会も少なく、患者さんの理解度が十分でないことが治療継続に影響を与えることもある。



**外来で抗がん剤治療を受ける患者のサポートが非常に重要！**

# 薬剤師外来による がん患者サポート業務開始

## 治療開始時

- ・ スケジュールの説明
- ・ 発現しやすい副作用とその対処方法の説明

パンフレット  
作成

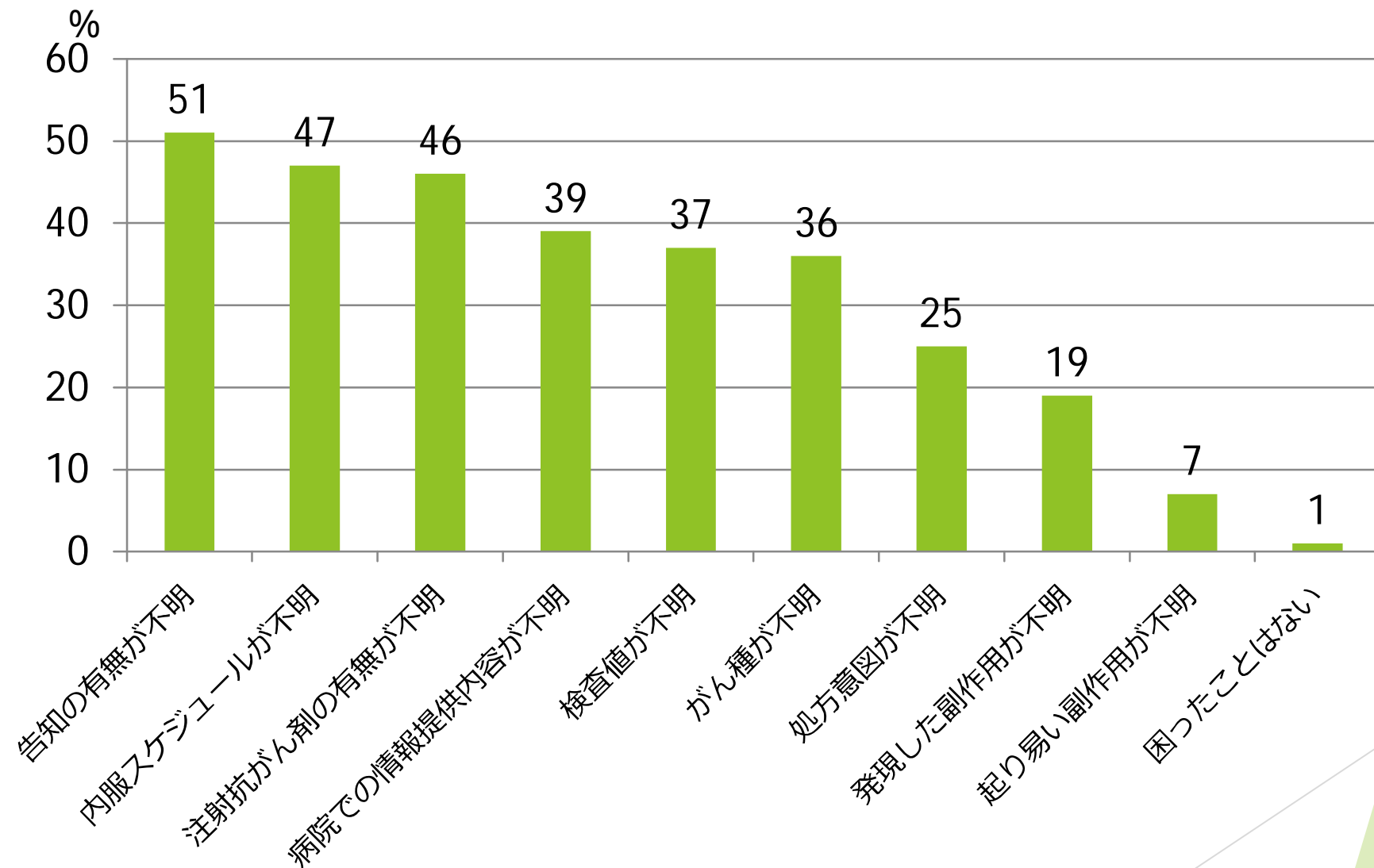
## 治療中

- ・ 副作用発現状況の確認と支持療法の提案
- ・ 服薬指導とコンプライアンスの確認

薬薬連携シート  
作成

安芸地区保険薬局薬剤師へのアンケート（122人）

がん患者との対応で困ったことを教えてください。



# 治療日誌の交付

告知の有無が不明51

## パンフレット

病院での情報提供内容が不明39

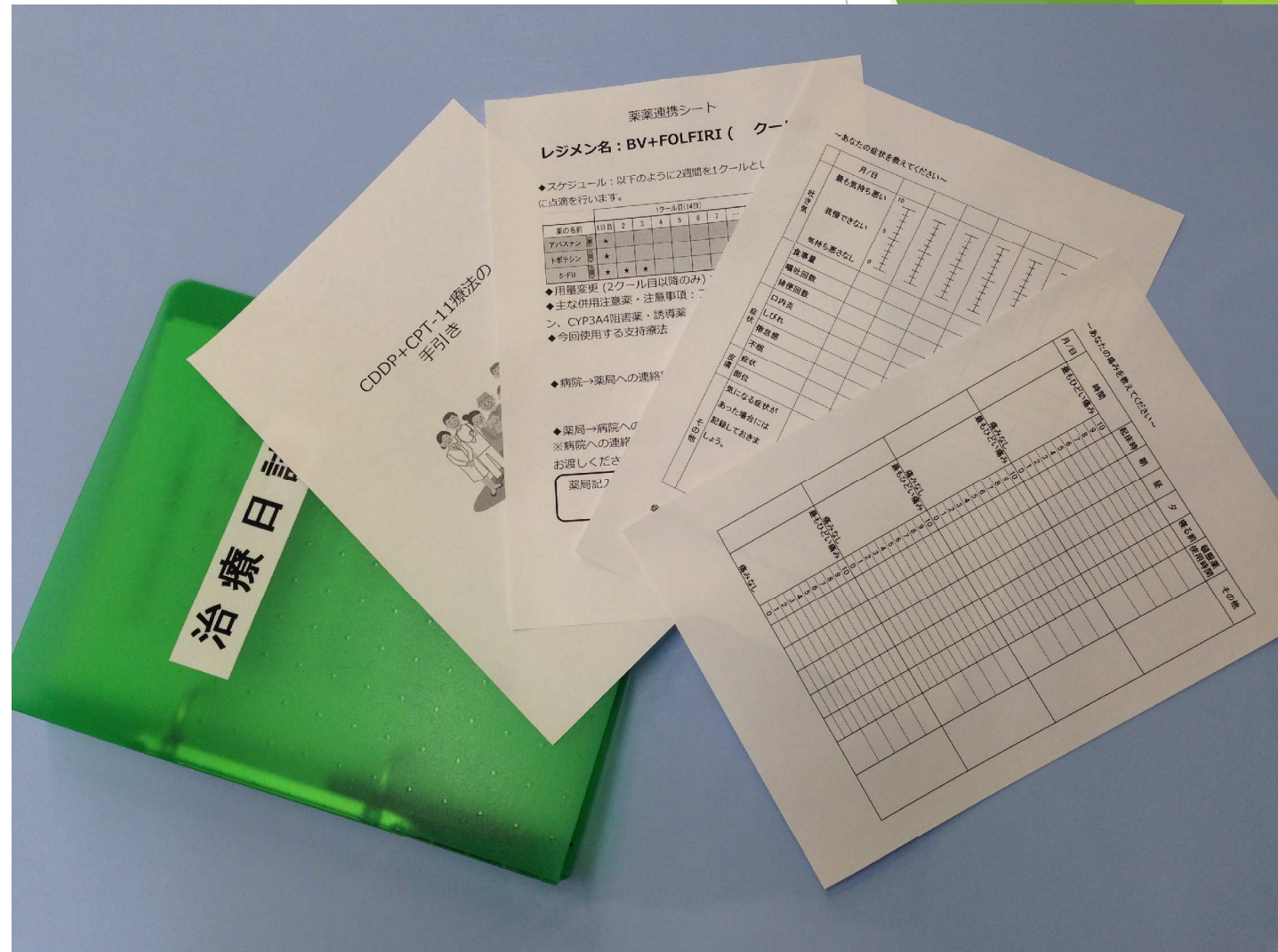
起り易い副作用が不明7

## 薬薬連携シート

## 症状チェックシート

発現した副作用が不明19

## 疼痛チェックシート








# 薬薬連携シート

レジメン名：BV+XELOX (クール目)

スケジュール：以下のように3週間を1クールとします。3週間に1回点滴を行い、点滴の日の夕食後から2週間ゼロータを内服します。

薬の名前	1クール目(21日)																					2クール目			
	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	...
アバステン 																									
エルプラット 																									
ゼロータ 	朝																								
	夕																								

用量変更 (2クール目以降のみ)： 無 有 ( )

残薬： 無 有 ( 回分)

併用注意薬・注意事項：フェニトイン、ワルファリン

今回使用する支持療法

病院 薬局への連絡事項

薬局 病院への連絡事項

病院への連絡事項がございましたらご記入の上ご本人にお渡してください。  
お電話(082-565-5087)でのご連絡も可能です。

薬局記入欄

薬局確認印

内服スケジュールが不明47

注射抗がん剤の有無が不明46

がん種が不明36

処方意図が不明25

発現した副作用が不明19

薬局確認印の押印  
にご協力ください。

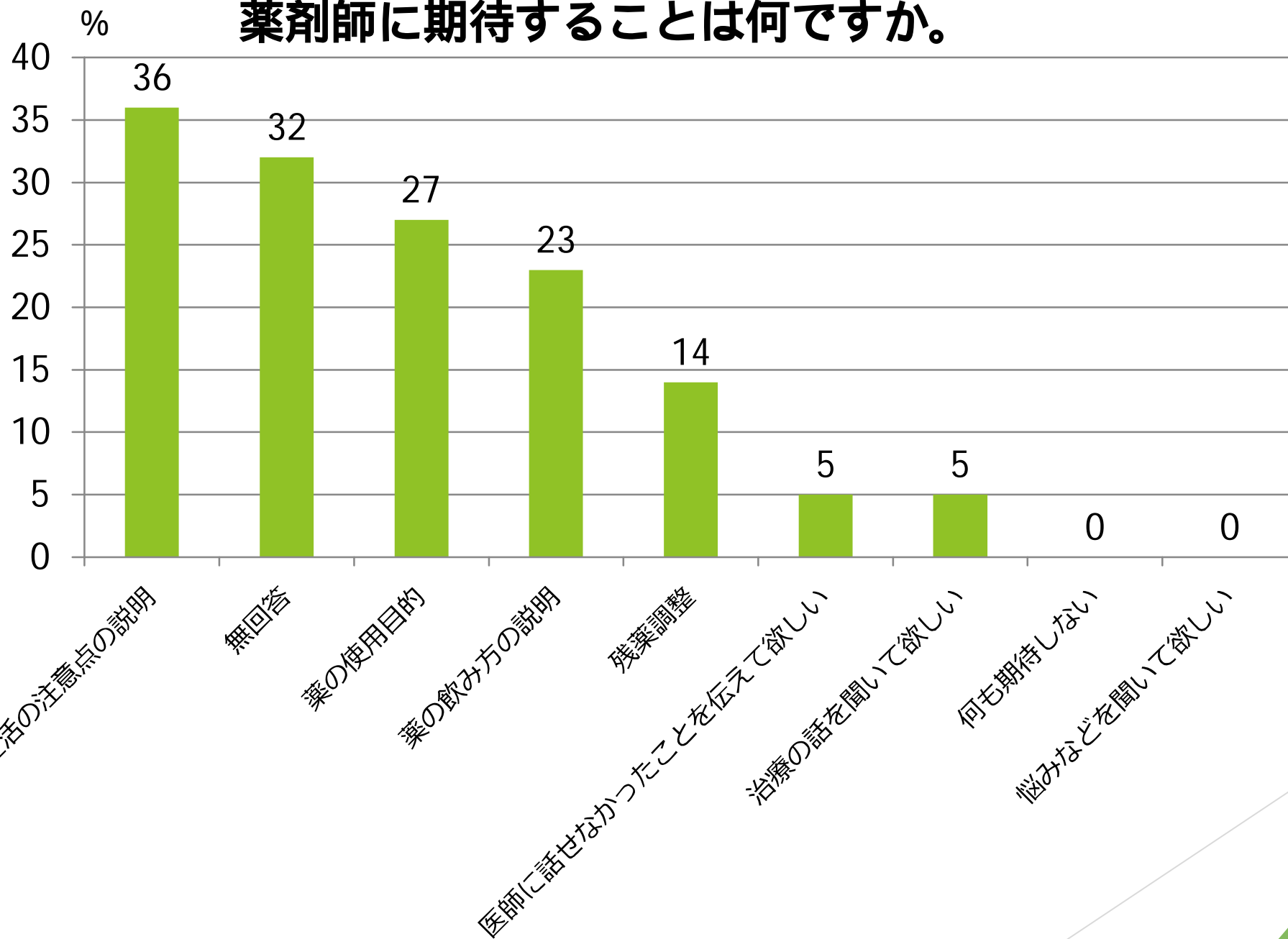
# 治療日誌の取り扱い

病院薬剤師は治療日誌をかかりつけ薬局で提示するよう患者さんに説明し交付します。  
ただし、かかりつけ薬局で患者さんが提示するかは患者さんの自由であり、強制されるものではないことも説明します。

かかりつけ薬局で治療日誌が提示されないこともありますので、ご了承ください。

患者さんへのアンケート（22人）

## 薬剤師に期待することは何ですか。



# 安芸地区薬業連携 がん患者サポートに関する今後の予定

- ・ 個々の抗がん剤の特徴や副作用などについての勉強会
- ・ 服薬指導時のコミュニケーションスキルアップ研修会